

新築建物建築計画 (案)

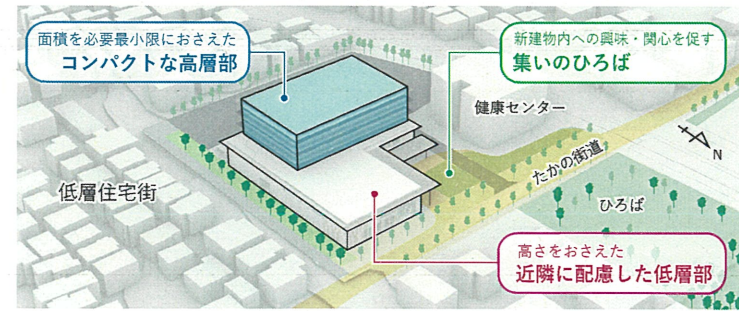
7 配置計画

(1) ひろばに開いたL字配置

L字配置により、ひろばからの見通しの良さを確保し、新築建物内への興味・関心を促します。また、屋内外一体的な市民活動等により、ひろばと新築建物の連続性を生みだします。庇の設置について検討します。

(2) 圧迫感をおさえたボリューム配置

隣接する住宅街に配慮し、高層部をセットバックさせたボリュームとします。



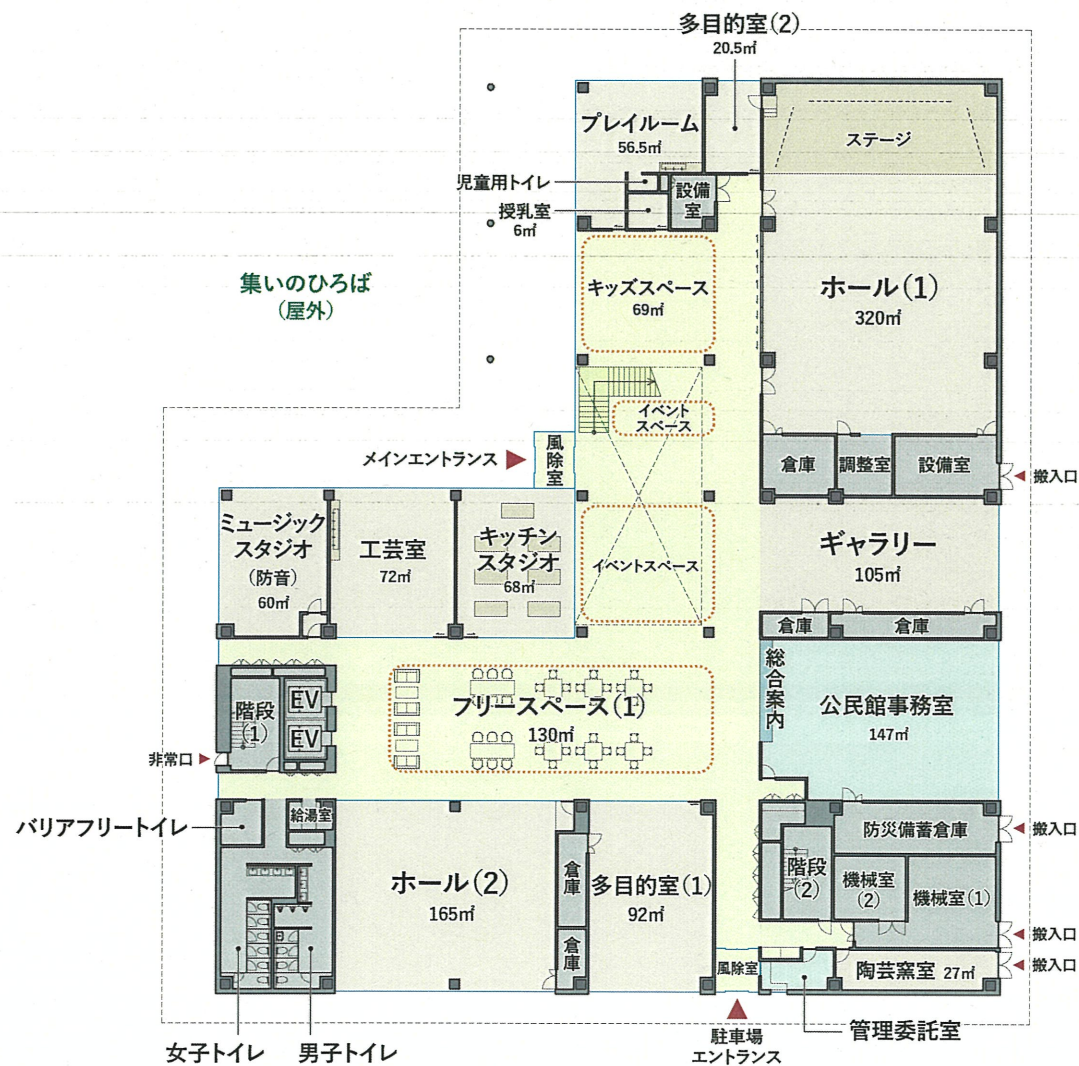
8 フロア構成

- ・福祉事務機能の利用者のプライバシー確保や、相談しやすい静かで落ち着いた環境への配慮等の観点を踏まえ、また、福祉事務機能の利用者にも、フリースペースや生涯学習・集会室機能などの交流の場、憩いの場が活用されることも目指し、福祉事務機能を4,5階に、フリースペースや生涯学習・集会室機能を1,2階に配置します。
- ・福祉事務機能の利用者に対しては、複数のエレベーターなど円滑な移動に配慮した設備の設置や、わかりやすいサイン計画などにより、移動の負担の軽減に努めます。
- ・生涯学習・集会室機能を1,2階に配置することで、新築建物前のひろば等からの見通しを良くし、市民活動のオープン化の効果を高めます。
- ・フリースペースを立ち寄りやすい1,2階に配置することで、様々な人や世代が気軽に集い交流する場を創出します。また、フリースペースは学生が勉強する場としての活用も検討します。
- ・キッズスペースを1階に配置することで、健康センターやひろば等を利用する子育て世代にも魅力的で使いやすい施設を目指します。

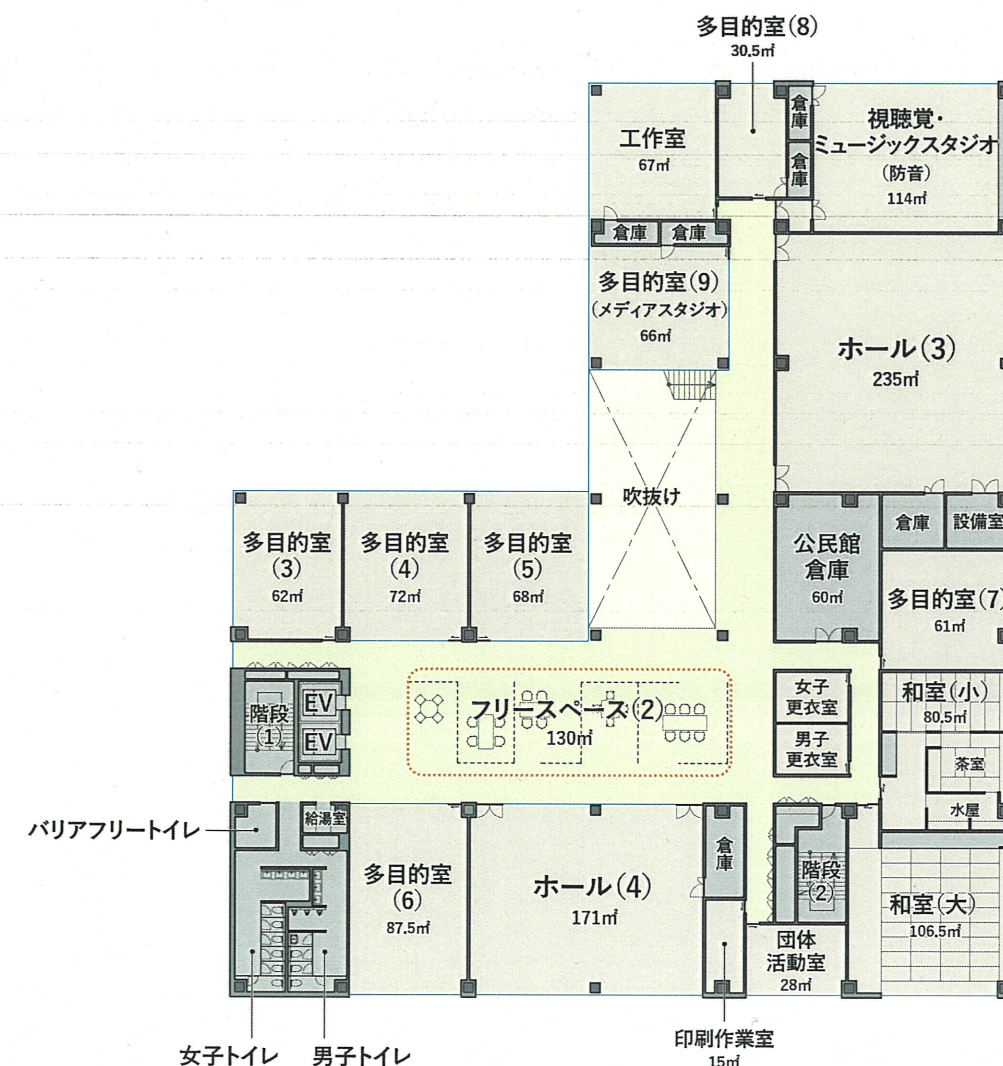
	屋外機器置場	RF
	福祉事務機能	5F
	福祉事務機能	4F
	行政機能	3F
	生涯学習・集会室機能、フリースペース	2F
集いのひろば	生涯学習・集会室機能、フリースペース、キッズスペース	1F 車寄せ

9 生涯学習・集会室機能の配置 (1-2F)

- ・市民活動に対する興味・関心を持ってもらうことを目指すため、1,2階の生涯学習・集会室機能については、屋外のひろばや建物内のフリースペースから、各室内の活動が見えるようガラス張りのような空間とし、オープンな作りや配置にします。
- ・1階については、ホール、工芸室、キッチンスタジオなどの動きのある活動を行う部屋を中心に配置します。
- ・本庁舎が被災した場合を想定し、災害対策本部の代替施設としての機能を備えます。1階フロアや新築建物前のひろばにおいては、災害ボランティアセンターの開設を想定しています。避難所指定については今後検討を行います。



1F
延床面積：2157㎡



2F
延床面積：2024㎡